授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	リコンディショニング	講義・演習	6	40/90	測定と評価 スポーツ整形外科学
学科・学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
AT学科 1年生	福島 俊彦	☐ 有 ☒ 無			
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
<p>本科目では、JSPO-ATの役割における「リコンディショニング」の位置づけを理解したうえで、これらに必要な知識、態度や技能を習得することをねらいとする。</p>					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<ul style="list-style-type: none"> ・リコンディショニングの目的や内容の概要について説明できる。 ・各種組織の修復及び機能の回復過程を説明できる。 ・リコンディショニングで用いる代表的な手法について理解し、安全で効果的な 方法を選択し、計画と実践ができる。 ・対象者の状態(身体状態、機能的問題、動作における問題等)を把握し、適切なリコンディショニングプログラムを計画し、実践できる。 ・対象者の競技・種目の特性に応じて、安全で効果的なリコンディショニングプログラムを計画し、実践できる。 					
教科書・参考書					
<p>リファレンスブック JSPO-AT専門テキスト④「リコンディショニング」</p>					
受講時留意点、その他					
<p>【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ● 授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ● 授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ● 授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ● 当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 <p>※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	定期試験			
その他					
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		リコンディショニング総論		/	
2		リコンディショニングで用いる 代表的な手法 (エクササイズ～ブレース)		/	
3		リコンディショニングで用いる 代表的な手法 (物理的刺激アプローチ)		/	
4		リコンディショニングで用いる 代表的な手法 (徒手的アプローチ)		/	
5		リコンディショニングにおける 評価とプログラミング		/	
6		リコンディショニングに必要な 組織修復、治癒過程の知識		/	
7		機能的、身体的な状態に応じた リコンディショニング (筋力)		/	
8		機能的、身体的な状態に応じた リコンディショニング (関節可動域・柔軟性)		/	
9		機能的、身体的な状態に応じた リコンディショニング (バランス機能・全身持久力)		/	
10		機能的、身体的な状態に応じた リコンディショニング (姿勢、アライメント)		/	

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		機能的、身体的な状態に応じた リコンディショニング (体重管理・スポーツ動作)		/	
12		部位ごとの状態に応じた リコンディショニング (頭頸部)		/	
13		部位ごとの状態に応じた リコンディショニング (胸部)		/	
14		部位ごとの状態に応じた リコンディショニング (腰部)①		/	
15		部位ごとの状態に応じた リコンディショニング (腰部)②		/	
16		部位ごとの状態に応じた リコンディショニング (肩)①		/	
17		部位ごとの状態に応じた リコンディショニング (肩)②		/	
18		部位ごとの状態に応じた リコンディショニング (肘・前腕)		/	
19		部位ごとの状態に応じた リコンディショニング (手関節・手)		/	
20		定期試験		/	